

2017年8月30日

名称	Design For AI に関する調査研究分科会
種別	A種分科会：会誌等で公表できる成果が期待できるもの B種分科会：ニーズ，シーズを調査し，A委員会へ発展可能なもの C種分科会：外部から委託されたもの
設置期間	2017年10月～2018年9月
主査等責任者 ・通信先	和泉直志（正会員） 久留米工業高等専門学校 教授 izumi@kurume-nct.ac.jp (0942)35-9365（直通） 幹事予定者：竹之内和樹 九州大学大学院 准教授 委員：戸水晴夫氏（SDI Japan）を中心メンバーとして，九州支部会員に依頼．研究会の活動において，支部会員に加え，近隣の企業設計者にも広く案内し，議論への参加を呼びかける．
年開催予定数	6回
目的	<p>発展・多様化する設計の対象において AI 組込み機器は特にその発展が著しいもののひとつであり、かつてメカトロニクス機器においてメカニクスとエレクトロニクスの有効な組み合わせおよび機能分担・接合において設計手法を模索したのと同様の状態が生じている。</p> <p>本研究分科会では、同時に申請する「九州地区の設計手法の適用と教育に関する調査研究分科会」と連携して、従来の製品設計プロセスを確認し、AI 機器の現在の設計への利用の状況を調査しながら、AI を組込む機器の設計をどのように計画し進めるのが有効かを議論し、この分野の汎用的な設計手法はどのようにして構築可能であるかを検討する。</p>
調査研究事項	<ul style="list-style-type: none"> 九州地区の AI 製品設計・製造業における各種設計手法利用状況および適用場面と効果ならびに AI 機器における設計課題の調査（企業設計者との意見交換） 上記調査を踏まえた設計手法構築の検討と研究課題の抽出